

平成28年度 第1回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成28年7月5日(火) 13:30~15:00
会 場	芦屋市医師会医療センター2階
出席者	委員長 高 義雄 委員 河盛 重造 委員 澤田 喜博 委員 仲西 博子 委員 三井 幸裕 委員 荒谷 芳生 事務局 近田 真 瀬戸山 敏子 米川 彩佳
事務局	健康課
会議の公表	■ 公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 委嘱状交付

(2) 議題

議題1 委員長の選出

議題2 平成27年度予防接種実績について(資料1)

議題3 平成28年度予防接種実施計画について(資料2)

議題4 その他(資料3)

2 提出資料

資料1 平成27年度予防接種事業実績

資料2 予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について

資料3 乾燥弱毒性麻しん風しん混合ワクチンの製造販売会社による自主回収への対応について

### 3 審議経過

(開会)

(事務局近田) 本日は、お忙しいところご出席いただきまして、誠に有難うございます。定刻になりましたので、平成28年度第1回予防接種運営委員会を開催いたします。

開催にあたりまして、委嘱状の交付を行ないます。本来であれば、市長がお渡しするところですが、公務多忙のため、こども健康部部長の三井より、委嘱状を交付させていただきます。今後平成30年3月末までの2年間よろしく申し上げます。

(三井部長より交付)

(事務局近田) 本年4月の人事異動により、委嘱委員に兵庫県芦屋健康福祉事務所仲西所長様が就任されましたので、一言ご挨拶をよろしく願いいたします。

(仲西委員挨拶)

(事務局近田) ありがとうございます。では、議題に入りまして委員長を選出となります。要綱第5条により委員長を互選するとありますが、委員の中から推薦はございませんでしょうか。

(河盛委員) 高委員を推薦いたします。

(事務局近田) ありがとうございます。他にはございませんか。では高委員に委員長をお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

会議運営上のご説明をさせていただきます。芦屋市情報公開条例第9条により、会議は公開が原則となっております。本日の会議は公開とさせていただきます。また議事録及び議事録中の発言者名につきましても公開とさせていただきます。議事録を正確に作成するため、レコーダーで録音させていただきたいと思っておりますので、ご了承のほどよろしく申し上げます。

それでは、高委員長、ご挨拶並びに議事の進行につきましてよろしく申し上げます。

(高委員長挨拶)

(高委員長) それでは、議題に入ります。議題1平成27年度予防接種事業実績について、事務局から説明申し上げます。

(事務局米川) 平成27年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(高委員長) ありがとうございます。ただいまの報告について何かご質問はございませんか。

(河盛委員) MRですが、1歳6か月児健診時にある程度接種歴のデータがあると思いますが、例えば就学時において全く接種していない方が何名いるか等のデータはございますか。

(事務局瀬戸山) 資料1の8ページに就学前の予防接種確認のページをご覧ください。未接種主義の方が3名います。

(河盛委員) MRにおいて1期も2期も接種していない人は分かりますか。

(事務局瀬戸山) それについての把握はできていません。

(河盛委員) 未接種主義の方でも選びながら接種している人もいますし、MRを接種していないのは問題なので調べた方がよいのではありませんか。

(事務局瀬戸山) 未接種者については把握していますが、何も接種していません。

(河盛委員) 今後も把握は継続して行ってください。

(事務局瀬戸山) はい、ありがとうございます。

(河盛委員) もう一点確認ですが、不活化ポリオの使用が今まで4回までに制限されていましたが、三種混合が無くなった今、ポリオの回数が4回以上となることになって四種混合を使用してよろしいのでしょうか。

(事務局米川) 不活化ポリオの使用に関する文章が変更され5回以上の使用が認められたため、定期予防接種として四種混合を使用してもらって大丈夫です。

(高委員長) ありがとうございます。他に何かございますか。未接種主義者というのは今回のMRの接種率の低下に関係ありますか。

(事務局米川) 健診などで勧奨をしている実感として接種率が低下している印象はないので、なぜ今年接種率が低下したのかはこちらとしても原因が分かりかねている状況です。

(高委員長) 他に何か質問はございませんか。最後にまとめて質問の時間を取りますので先に進みます。では次の議題のB型肝炎について事務局からお願いします。

(事務局米川) (資料2)の説明

(高委員長) ありがとうございます。この件につきまして何かございますか。

(河盛委員) 具体的な種類ですね。ビームゲンとヘプタバックスどちらも定期の予防接種のワクチンということでよろしいですね。

(事務局米川) 定期のワクチンとして認められています。

(河盛委員) ビームゲンは0.25mlと0.5mlと2種類ございますが、どちらのワクチンを定期として使用してよろしいのでしょうか。

(事務局米川) ワクチン価格のことがございますので、市町予防接種担当者会議の後の回答となります。

(河盛委員) 初年度の特に10月11月は接種希望者が殺到する可能性がございます。なのでワクチンの指定についてはある程度柔軟性を持って考えていただいた方がスムーズに定期予防接種の実施ができるのではないのでしょうか。ワクチンは十分にあると言われていますが、6月ぐらいから新規のB型肝炎の接種は止まっている状況です。4月生まれの方が6月から開始できますので、7月、8月と新規接種者は恐らく止まると思います。今までの接種率としてB型肝炎は6割程度でしたが、定期となることにより9割の方が接種することが見込まれます。ワクチンが十分にあると言っても最初から滞りなく提供できるかは疑問もございます。あと、3回目の接種ですがご存じの通りかなり制限がございます。3回目は大体半年後の接種となりますが今年の4月生まれの方は少し遅れると簡単に定期の対象者から外れてしまいます。少なくとも初年度は融通の利くような体制をとっていただきたいです。

あと1点お伺いします。一部の自治体では定期として認められる期間が短いため、半年程度猶予を持たせるところもあると聞いていますが、そのような措置はございますか。また、一部の自治体では先行して4月以降の生まれのお子さんの予防接種を行っているところもあると聞いていますが、芦屋市ではそのような措置はございませんか。

(事務局近田) その件に関しまして、2つ目の質問に関しましては確認はとれていませんが、1つ目の質問に関しましては他市で行う市もあるということは把握しています。阪神7市1町の会議がございまして、その時の議案として挙げさせていただいています。他市についてどうされるのか確認しながら、念のため財政の方には頭出しをしております。もしかしたら阪神間で軒並み揃えて同じような体制をとる可能性はあると伝えていきます。

(河盛委員) ひょっとしたら1,2か月ほど早めにスタートができる可能性はあるということですか。

(事務局近田) かもしれません。まだ未確定な部分になっております。

(河盛委員) 2つ目の質問についてもまだ分からないということですね。

(事務局近田) はい、まだ今のところ未確定です。

(高委員長) ありがとうございます。他になにかございますか。一つ教えてもらっていいですか。今までどういう人を接種していたのですか。

(河盛委員) 希望者です。

(高委員長) どういう希望者がいたのでしょうか。

(河盛委員) 以前とB型肝炎に関する考え方が変わりました。垂直感染の予防と言う意味で母子感染の予防はしていましたが、母子感染以外にも父子感染やまれにですが保育所での感染の報告もございます。それが一つ、もう一つとしてユニバーサルワクチンとして定期の予防接種にしていった方がよいという考え方です。乳児期に感染すると抗体ができずに慢性化しやすく肝硬変などなりやすいですが、それ以降に感染した場合は抗体ができると、もともとは考えられていましたが、近年抗体を持っている方ががんになったり、免疫抑制の治療をするとB型肝炎が再燃したり、ということもございます。B型肝炎は水痘やヘルペスウイルスと同じような考えかたをしますので、ユニバーサルにした方がよいと考えられています。

(高委員長) そういうことを保護者の方は知っているのですか。

(河盛委員) 小児科医が保護者の方に先ほど申し上げたようなことをお伝えしています。

(高委員長) 啓蒙しているのですね。

(河盛委員) 数年前から行っております。

(高委員長) 定期の予防接種が始まったから急に接種数が増えるわけではないですか。

(河盛委員) 今まではお金の問題があったので6割ぐらいの接種率でした。

(高委員長) 接種することを考えている人はB型肝炎の関係者が多いものですか。保護者の近くに感染している人がいるとか。

(河盛委員) 定期となったらほぼ全員接種すると考えます。

(高委員長) 保護者の方もある程度B型肝炎に関する知識が必要ですね。

(河盛委員) 知識は小児科医が与えています。

(高委員長) 今後は小児科の先生方だけではなく市の方からもアプローチが必要ですね。

(事務局米川) B型肝炎定期予防接種についての案内は順次していく予定です。

(高委員長) ありがとうございます。その他事務局からお願いします。

(事務局米川) (資料3)の説明

(高委員長) これについての質問はございますか。予定された議題はこれで終了ですね。全体を通して質問等ございますか。

(河盛委員) 予防接種の説明会ですが、もし接種開始時期が早まるのであればそれに併せて開催時期を調整していただけたらと思います。

(事務局近田) はい、わかりました。

(仲西委員) 定期の予防接種における事故の報告が県にあがってきますが、平成27年度は市内で4件ございました。予防接種実施機関、ワクチン名、ロットナンバー、接種年月日、事故の概要と原因、事故への対応、再発防止策等の項目があって提出されていますが、ヒブの接種の3回目の接種時期を誤ったケースですが、その旨を医師会に報告したという内容となっていますが、対応はされましたか。医師会に連絡して注意喚起をされているのでしょうか。

(事務局瀬戸山) 生後7か月以上に接種開始した事例ですね。事実に対して医師会を経由しまして該当医院には直接伝わっています。該当医院も今後注意して確認していくと回答をいただいております。

(仲西委員) 母子健康手帳の確認が十分でなかったことや、年齢の確認を怠ったとか、健康被害とは直接結びつきはしていませんがこのような基本的なことが重なって事故につながりますので今後も継続して注意喚起を行ってください。人間ですから間違いは起こり得ますので繰り返しお願いします。

(高委員長) 他になにかございますか。日本脳炎の問診票の件は事務局は聞いていますか。

(事務局米川) はい。勧奨のはがきの中に医院にある「予防接種とこどもの健康」を読むように記載しています。

(高委員長) それはまだ聞いておりませんでした。特例対象者にあたる方が突然接種しに来た場合、「予防接種とこどもの健康」がすぐに手元に見当たらないことがありました。はがきと同封して個々に渡すのは難しいと思いますが、各医院が本のコピーが欲しいと言っています。今まで特例対象者に対してどのように対応していましたか。

(澤田委員) 今まであまり対応したことがございませんでした。

(高委員長) また事務局で考えておいてください。

(河盛委員) あと、四種混合ワクチンの予診票ですが、三種混合やポリオの接種歴を書く欄がございしますが、近頃は四種混合へ一本化されていますので次回の印刷から削除していただけたらと思います。

(事務局米川) 内容を確認して検討します。

(高委員長) これで一旦閉会とさせていただきます。事務局にお返しします。

(事務局近田) ありがとうございます。次回の開催は来年になります。平成29年2月頃を予定していますので、近くになりましたらご案内を差し上げますのでどうぞよろしくお願いします。本日の予防接種運営委員会はこれで終了とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。